

中国建国六〇周年 国造りは成功したのか



中嶋 嶺雄

中華人民共和国は建国六〇周年を迎え、「偉大な中国」の国威発揚がしきりに図られている。しかし重要な問題は、果たして中国が国造りに成功したのかどうかという切実な問いであり、そのためには建国の理念と現実の検証がぜひ必要であろう。

かい離した理念と現実

政治による多くの犠牲者、農民の貧困、人権抑圧…

毛沢東は中国革命の過程で、「新民主主義論」などを説いて、中国の政治体制は共産党の一党独裁ではなく、「連合政府」であるべきことをしきりに強調していた。対外的には「平和五原則」外交が推進され、漸進的な社会主義改造が目標とされた。

ところが「抗米援朝」の朝鮮戦争に臨むなかで、毛沢東や中共は、台湾の金門・馬祖島を砲撃した臨戦体制下にあったが、人

によって、いわゆる反革命分子も大量に処刑された。その直後にソ連の「スターリン批判」に直面した中国共産党は、言論緩和の「百花齊放・百家争鳴」運動を始めたが、一年半後には毒草刈りの反右派闘争に転じ、翌五八年からの大躍進

「四人組」として逮捕される姚文元らの文芸批判によって文化大革命が開幕、六六年夏には紅衛兵が大量出現して世界を驚かせた。権力闘争の大衆運動化という毛沢東政治は以後一〇年間、中国社会に様々な傷痕を残して終わった。この間、中ソ戦

争や中越戦争も勃発し、国内的には林彪異変という深刻な事件も発生した。対外的には米中接近によって大きく方向転換し、周恩来・毛沢東という領袖の死を経て鄧小平が復活、七八年末からは「四つの現代化」を掲げた「改革・開放」政策が始まった。

このことは他面で政治の民主化を求める学生・市民層の動きとなり、ペレストロイカの旗手

文化



中野北溟氏

北海道は寒い……
(原子修「原郷創造」より)

北の大地への問いかけ

「北の光をうたう—中野北溟の世界」展(18日まで、北海道立近代美術館)の会場に入ると、詩人・原子修の長編詩「原郷創造」の一節—写真、部分IIが目に飛び込んできた。紙から文字が浮き上がっている、と言ってもよい光景だった。

中野北溟氏、86歳。長身、大きな体を動かかしスケールの大きな詩情あふれる作業。少し誇張して言うなら

へと広がり、ぐるりと地球を一回りして、再び北の大地に戻ってきた、と。

水柱の切っ先を心臓に突き刺したまま、だまって北半球の孤独に目をさらす。わたしが、もっとも好きです(同)

【桐山正寿】
随時掲載します

流部門IIアーサー・ストックウイン前オックスフォード大日産日本問題研究所長(英国を代表する日本研究者として現代日本政治の研究に優れた業績)
◇国際交流基金賞受賞記念、ボリス・アクーニン氏講演会
9日16時、東京都文京区本郷の

品を生み出してきた。今年一月には現代美術を世界に発信してきた東京画廊(銀座)で個展「津軽/TSSU GARU」を開いたばかり。今回、新作「原郷創造」をはじめ、海やカレワラ(フィンランドの叙事詩)をテーマにした代表作80点が大集合。ファンにとっては、またとない朗報だろう。



現代の人間が使っている言葉を、深く理解し、感動できる言葉を取り上げて、こうという訴えでもあった。

◇第10回現代俳句協会年度作品賞 村田まさるさん(88)の「セザンヌの色」と、東金夢明さん(61)の「霧変」に決まった。同賞は俳誌などに発表された作品30句が対象。村田さんは北九州市小倉南区在住で、「樗」など

倉南区在住で、「樗」などに所属。東金さんは東京都板橋区在住で、結社には所属していない。表彰式は31日午後1時から、東京・東天紅上野店で開かれる第46回現代俳句全国大会の席上で行われる。

国際交流基金賞

各部門受賞者決定
今年度の国際交流基金賞の各部門の受賞者がこのほど決まった。授賞式は6日午後6時半から東京都港区のホテルオークラ

で。受賞者は次の通り。
▽文化芸術交流部門II作家、ボリス・アクーニン氏(日本文学をロシアに紹介するなど、日露の文化交流に貢献)▽日本語部門II全米日本語教師会連合会(米国における日本語教育の発展に貢献)▽日本研究・知的交



ボリス・アクーニン氏

流部門IIアーサー・ストックウイン前オックスフォード大日産日本問題研究所長(英国を代表する日本研究者として現代日本政治の研究に優れた業績)
◇国際交流基金賞受賞記念、ボリス・アクーニン氏講演会
9日16時、東京都文京区本郷の

東京大本郷キャンパス法文2号館1番大教室。「日本と私」のテーマで講演する。司会は沼野充義・東京大学教授。通訳あり、無料。要事前予約。申し込みは国際交流基金情報センター(03・5369・6075)へ。

150年ぶりに見つけた左側の扉

